

株主・投資家の皆様へ

株主通信

2010年
3月期中間期

のご報告

2009年4月1日～
2009年9月30日



TEMPORAL REPORT

業績

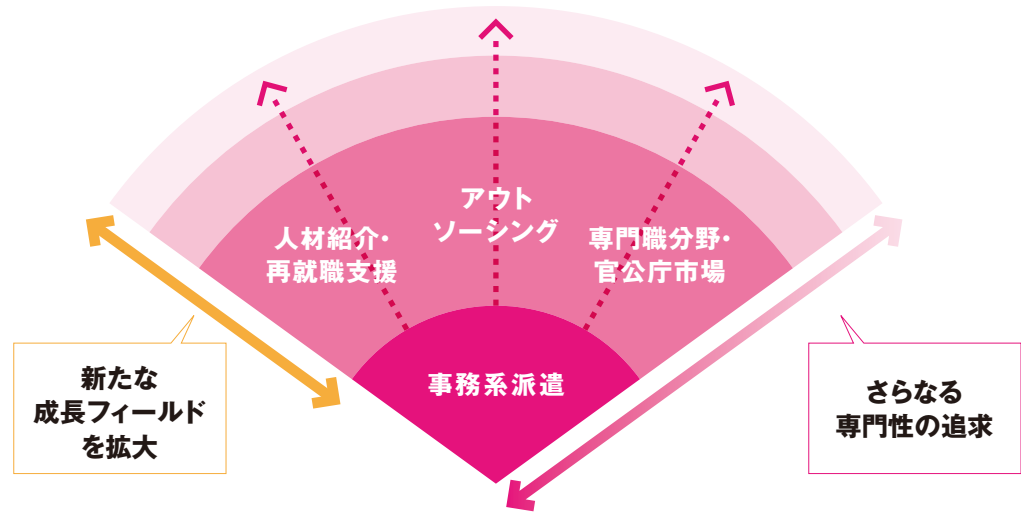
しなやかな経営。
マーケットの変化に即応する
俊敏さと、柔軟さ。

2010年3月期中間期
連結業績ハイライト

- 売上高 1,121億円
- 営業利益 27億円
- 経常利益 28億円
- 一株当たり中間配当金 6円



代表取締役社長 篠原 欣子
1957年三菱重工業退職後、欧州留学を経て、1971年オーストラリアで就業。1973年帰国後、オーストラリアで知った人材派遣からヒントを得て、テンプスタッフ設立。2000年から10年連続でフォーチュン誌「世界最強の女性ビジネスウーマン」にランキング。2007年企業家大賞受賞。



事務系派遣の実績を基盤に、アウトソーシング、人材紹介・再就職支援、専門職分野・官公庁市場へ。事業フィールドの拡大が今後の営業テーマです。当下半期にはテンプスタッフ内にアウトソーシング専門チームを設立しています。

変化をチャンスに変えていく。

これからを見据えた
新領域で好材料。

企業の業績悪化や規模縮小により人材需要が低迷するなか、この中間期は、1121億円の売上高と、28億円の経常利益を確保することができました。

この中間期では、企業からの再就職支援への要請をうけ、再就職支援事業が堅調に推移しました。5月には、この分野に大きな実績とノウハウを持つ日本ドレック・ビームモリンを子会社化。競争力を大幅に強化し、同事業を筆頭とする「その他の事業」で約22億円と、前期末の実績約16億円を超える売上を実現。グループ全体の利益確保に大きく寄与しました。

また官公庁市場では、定額給付金関連業務や緊急雇用創出事業などを受託し、同市場の売上が大きく躍進しました。官公庁では、業務効率化やコスト削減を背景に、民間企業のノウハウを積極的に活用する動きがみられます。豊富な実務経験で培われた運用ノウハウと、付加価値の高い企画提案力を差別化の武器として、新規受託案件の獲得を中心

に、収益性を重視しながら市場深耕を目指してまいります。

市場の変化に対応する 事業展開へ。

経済環境はまだまだ厳しく、企業では経営の効率化が課題となつていきます。その解決策として、業務を外部へ委託するアウトソーシングの活用は、有効な手段のひとつといえます。テンプグループでは、アウトソーシング事業の強化をテーマに掲げ、開発業務から事務処理業務まで、さまざまな業務の受託を目指します。

同時に、人材紹介事業、官公庁市場の事業拡大を精力的に推進。事業バランスをマーケットの変化に最適化させていくことで、さらなる収益の向上を目指していきます。また、事務系派遣を基盤としながら、IT、バイオ・メディカルなど専門領域を拡大し、求職者のキャリアアップ支援と雇用機会の拡充を実現していきます。

変化を敏感に察知し、スピーディーかつ柔軟に適応していくしなやかさが、これからの勝ち抜く経営のカギであると確信し、事業を展開してまいります。

働く人、企業、社会の変化への対応、すすむ。

中間期の 出来事

女性のために生きる、テンプグループ。

2009年5月 「第2回ベストマザー賞2009 企業部門」を受賞

女性の再就職支援や保育所の運営など、働き続けた女性への支援が評価され、NPO法人日本マザーズ協会主催の「第2回ベストマザー賞2009 企業部門」を受賞しました。今後も、働き続けたい女性を応援してまいります。

2009年7月 「女性活躍推進ネットワークセミナー」スタート

各種研修サービスを手がけるグループ企業テンプスタッパーニングが、企業の女性活躍推進担当者の情報交換の場を立ち上げました。今後も、セミナーの実施やノウハウの共有など、さまざまな取り組みにより、女性活躍推進活動を支援してまいります。

中間期営業利益計画を達成。

厳しい環境のなかでも、業界屈指のコストコントロール力により、着実に利益計画を達成。徹底したムダの削減、最適投資により、中間期の計画に対し、113.9%を達成。今後、さらなる経営効率の向上を目指します。

2つの大型M&Aを実施。収益の推進力に。

2009年5月 日本ドレーク・ビーム・モリンを子会社化。

中間期は、日本ドレーク・ビーム・モリン、富士ゼロックスキャリアネット(現:テンプスタッフ・クロス)の2社のM&Aを実施。なかでも、再就職支援事業を展開する日本ドレーク・ビーム・モリンは、中間期の収益に大きく寄与しました。

2009年7月 富士ゼロックスキャリアネットを子会社化。新社名「テンプスタッフ・クロス」としてスタート。

今後の特定派遣事業、アウトソーシング事業強化の一環として、R&Dアウトソーシングを得意とする日本テクシードとの資本業務提携を目指しています。

2009年9月 日本テクシードとの資本業務提携を決議。友好的TOBに着手。

私たちのM&Aは「3現主義」

私たちは、確かな原理原則に基づき“身の丈に合った”M&Aを、今後も積極的に展開していきます。

「現場主義」

市場(現場)の視点を情報源として尊重すること。

「現実主義」

見込まれるシナジーが明確で現実的であること。

「現金主義」

フリーキャッシュフローの範囲内で取り組むこと。

専門分野、さらに深化。

この中間期には、セキュリティ支援、ITインフラ監視エンジニア、化粧品販売、銀行窓販などの専門職分野で新たな取り組みを開始しました。また、8月には厚生労働省「長期失業者支援事業」を全国12地区で受託。官公庁市場におけるノウハウの蓄積を図り、市場をさらに深耕していきます。



ITエンジニアを育成し企業へ派遣

グローバル市場への積極展開

アジアを中心としたグローバルネットワークへ人的資源を集中し、基盤確立と積極展開を図ります。

経営効率の向上

ホールディングス体制による効率化をはじめ、あらゆる面でコスト削減を徹底。堅実な利益成長と健全な財務体質を堅持します。

女性の就業支援

子育てママの就職支援やパートタイム型派遣を拡充。セミナーやカウンセリングなど、女性の就業を全面的に支援します。

専門分野への積極展開

専門化する市場に対し、職種や業界に特化したサービス、ネットワークの拡充を図り、ニーズに応えていきます。

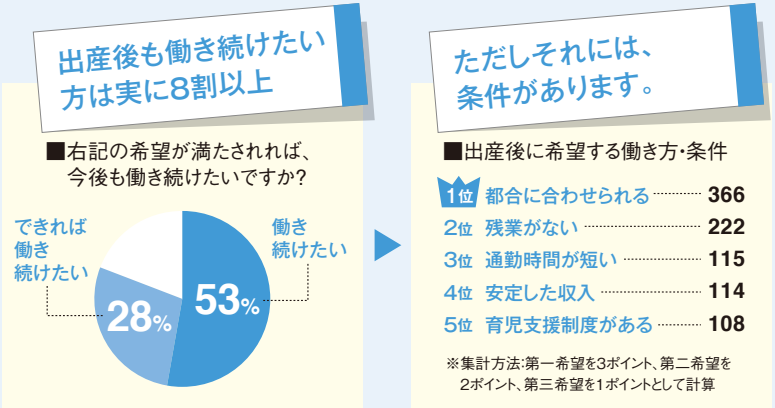
地域戦略の強化

各地域事業会社が、地域に根ざしたきめ細かいサービスを提供。各地域におけるシェア拡大を推進します。

テンプホールディングス 中期経営戦略

一人ひとりと、日本の成長のために。

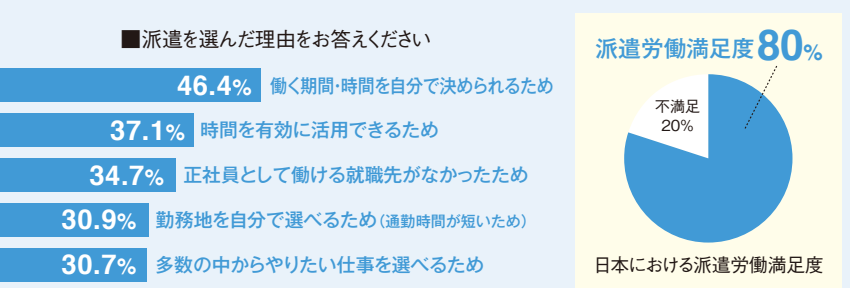
派遣だから可能な雇用があります。



制約がある中でも仕事に就きたい人に応えられる雇用のあり方、それが派遣です。

出典:「派遣ジョブ」2008年WEBアンケート(株式会社オビニオン)

派遣スタッフは派遣という働き方にさまざまなメリットを感じています。



出典:「人材派遣データブック2009」(社団法人日本人材派遣協会編)

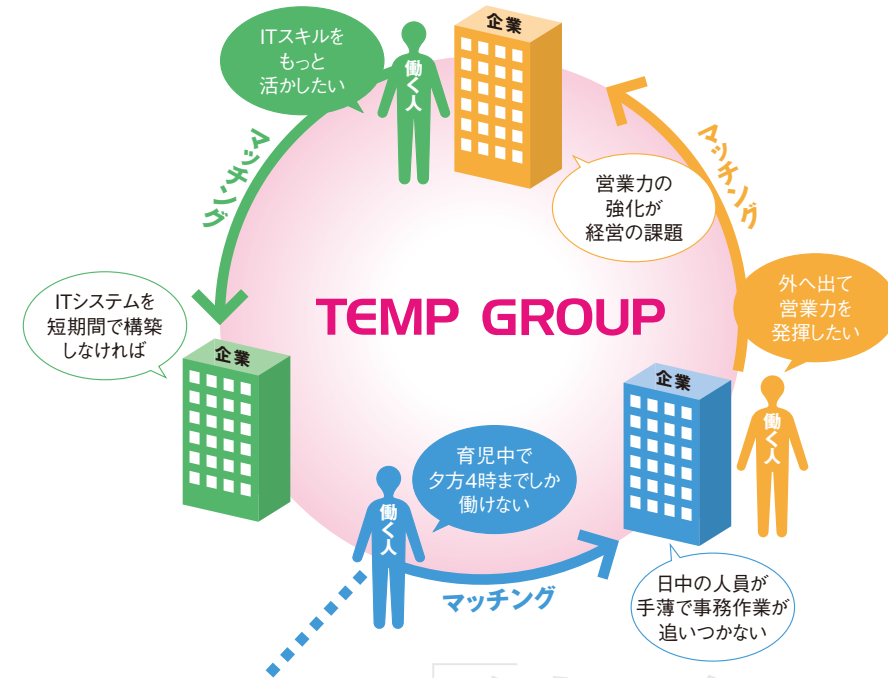
雇用の流動化は、経済成長に欠かせない力です。

私たちは、仕事を求める人と

人を求める企業のマッチングを実現し、雇用流動化の推進役を担っています。

雇用の流動化

働く人と企業のニーズが一致しないまま雇用が固定化されることは経済の停滞を招きます。人材派遣サービスの意義は、雇用を柔軟に流動化させることにあります。



人材派遣会社の使命とは?

使命

変わりゆく雇用ニーズ

景気の変化や新技術・新サービスの誕生をうけ、経済構造は変化しています。新しい技術開発による技術者や介護サービスに従事する人材の不足など、成長産業へ人材を流動させることも、経済成長には不可欠です。

また、日本社会の成熟とともに、働く人のニーズは多様化しています。一方で、企業が求める人材ニーズは高度に細分化され、スピード化する経済環境のなかで絶えず変化しています。

こうした時代、働く人と企業のニーズがマッチングをみることは困難です。

例えば、専門性の高いスキルを持つ人は能力を最大限に発揮できる場を求め、企業も即戦力となる人材をタイムリーに必要とすることがあります。

一方で、子育てママのように、制約があるなかでも働きたいと考える人がいます。二定期間だけ、短い時間だけ働きたい。労働力不足を補う貴重な労働力ですが、募集コストや採用工数などが、

企業にとっては負担となります。しかしこうしたさまざまなニーズにも、「人材派遣」であればお応えすることが可能です。

人材派遣が果たす役割とは

このように「人材派遣」があることで、働く人と企業の双方に、雇用の可能性が広がります。よりお互いのニーズがマッチした雇用へ、流動化をスムーズに図ることができ、また「人材派遣」では、健康保険、厚生年金保険、

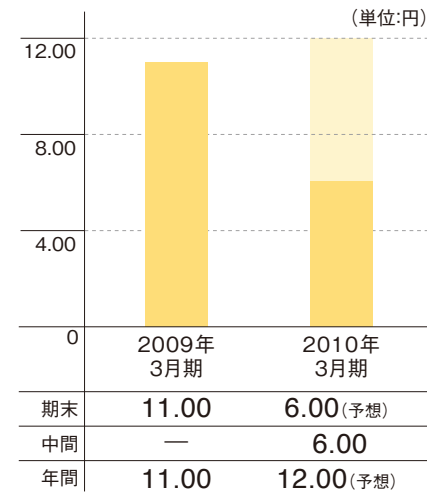
雇用保険などの社会保険制度や、労働者災害補償保険、有給休暇、健康診断など福利厚生制度が充実しているため、安心して働くことが可能です。

少子化に伴う労働力の減少が予想されるなか、日本経済の活性化、競争力強化に、「雇用流動化」は欠かせない条件といえるでしょう。テンプグループは、多彩な人材サービスの提供を通じて、これからも「雇用流動化」の推進役を担ってまいります。

連結決算の概況

一株当たり配当金

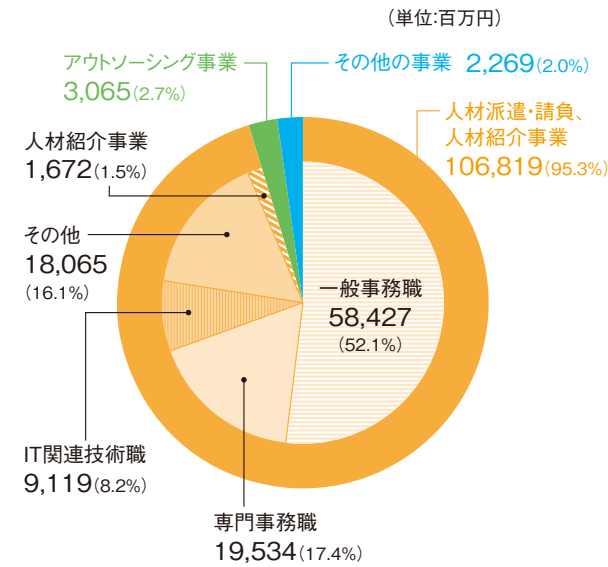
当中間配当は、一株当たり6円(100株当たり600円)を配当いたしました。なお、期末配当は中間実績と同様、一株当たり6円(100株当たり600円)を計画しております。



2009年3月期中間配当は、テンプスタッフ(株)およびピープルスタッフ(株)において、それぞれ実施しています。

セグメント別売上高

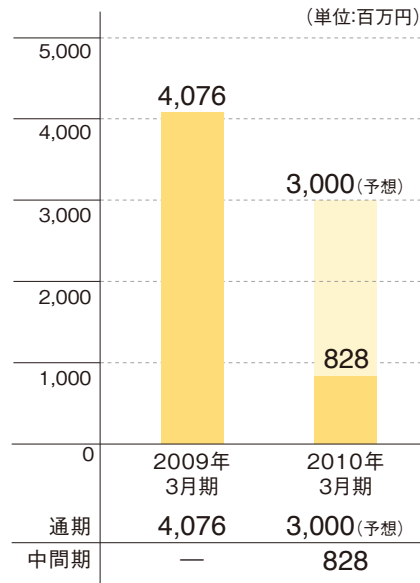
主力である人材派遣・請負、人材紹介事業で売上高の95.3%を構成し、前期末と比べ大幅な変動はありませんでした。その他の事業では、企業による雇用調整の動きの加速を受け、再就職支援事業が好調に推移し、構成比は前期末と比較し、2.0%へ1.3ポイント拡大しました。



四半期(当期)純利益

828百万円

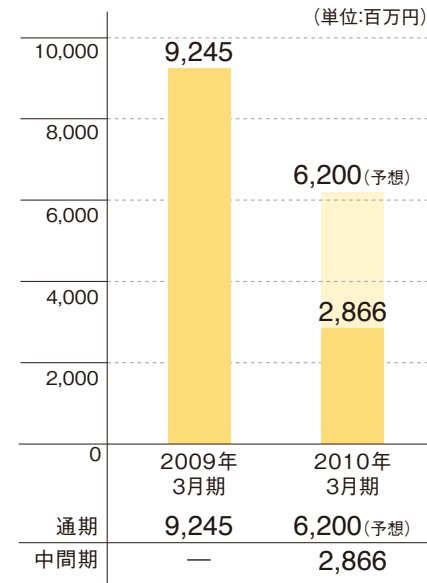
連結子会社の繰延税金資産の回収可能性について、慎重に検討を行った結果、繰延税金資産の一部を取り崩したことなどにより、当期純利益は828百万円となりました。



経常利益

2,866百万円

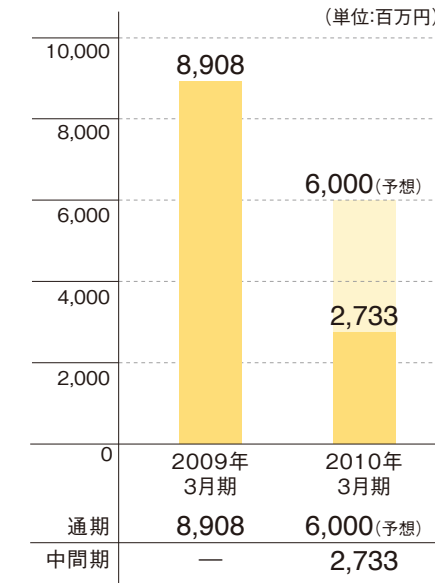
助成金収入や持分法による投資利益などにより、営業外収支は132百万円プラスとなり、経常利益は2,866百万円、計画比114.7%となりました。



営業利益

2,733百万円

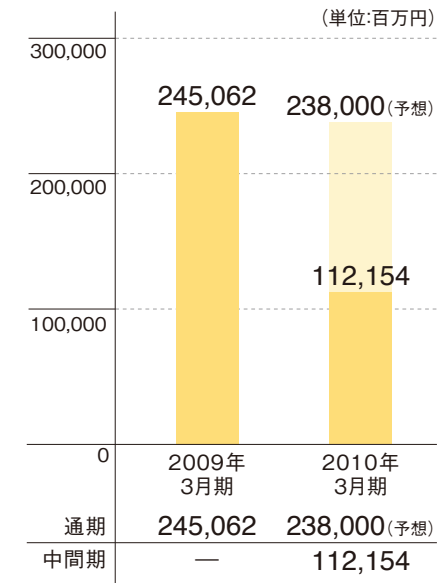
取引先企業の雇用調整に伴い、派遣スタッフの有給休暇が増大傾向にありましたが、徹底したムダの削減、管理可能な募集広告費などの最適投資、内製化の促進などにより、営業利益2,733百万円、計画比113.9%となりました。



売上高

112,154百万円

企業による雇用調整の動きから、有効求人倍率は低調に推移し、主力の人材派遣・請負、人材紹介事業はかつてない厳しい環境となりましたが、定額給付金関連業務など官公庁市場の需要に対し積極的に取り組んだこと、再就職支援事業が好調に推移したことから、概ね計画通りの結果を収めることができました。



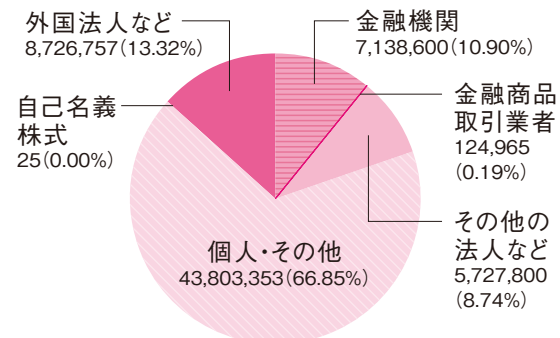
すべての歩みが、社会の幸せにつながっていく。

インフォメーション

(2009年9月30日現在)

株式所有者別分布状況

単位:株



株主メモ

| | | |
|---------------------|--|-------|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで | |
| 定時株主総会 | 6月下旬 | |
| 基準日 | 定時株主総会 | 3月31日 |
| | 期末配当金 | 3月31日 |
| 株主名簿管理人 特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 9月30日 |
| | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料) URL http://www.tr.mufig.jp/daikou/ | |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所(市場第一部) | |
| 公告方法 | 電子公告 公告掲載URL http://www.temp-holdings.co.jp (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。) | |

株式の状況

- 発行可能株式総数 240,000,000株
- 発行済株式の総数 65,521,500株
- 株主数 10,459名

●大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(株) | 議決権比率(%) |
|-----------------------------------|------------|----------|
| 篠原欣子 | 31,077,200 | 47.43 |
| ステート ストリート バンク アンドトラストカンパニー | 4,036,900 | 6.16 |
| ケリーサービスジャパン 株式会社 | 3,000,000 | 4.57 |
| 彌富よしみ | 1,812,800 | 2.76 |
| 株式会社 三菱東京UFJ銀行 | 1,760,000 | 2.68 |
| 日興コーディアル証券 投資事業組合 | 1,300,000 | 1.98 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口) | 1,260,700 | 1.92 |
| テンプホールディングス 従業員持株会 | 1,245,500 | 1.90 |
| ウーマンスタッフ有限会社 | 1,206,000 | 1.84 |
| 山本なな子 | 1,108,800 | 1.69 |
| 彌富太郎 | 1,108,800 | 1.69 |

会社概要

| | |
|------|--|
| 会社名 | テンプホールディングス株式会社 Temp Holdings Co., Ltd. |
| 設立 | 2008年(平成20年)10月1日 |
| 代表者 | 代表取締役社長 篠原 欣子 |
| 本社 | 東京都渋谷区代々木2-1-1 |
| 事業内容 | 労働者派遣事業・有料職業紹介 事業などの事業を行うグループ会 社の経営計画・管理並びにそれに 付帯する業務 |
| 資本金 | 2,000百万円 |

役員一覧

| | |
|---------|--------------------------------|
| 代表取締役社長 | しのはら よしこ 篠原 欣子 |
| 取締役副社長 | ひびの みきこ 日比野 三吉彦 |
| 常務取締役 | みずた まさみち 水田 正道 |
| 常務取締役 | きぶり としお 佐分 紀夫 |
| 取締役 | わだ たかお 和田 孝雄 |
| 取締役 | カール ディー カムデン Carl T. Camden |
| 常勤監査役 | ひらが いづき 平賀 稜威喜 |
| 監査役 | さえき なおたか 佐伯 尚孝 |
| 監査役 | しまだ はるお 島田 晴雄 |
| 監査役 | あらい かおる 荒井 薫 |

保育事業の展開

保育施設の不足を解消することは、子育てママの就業拡大の実現に大きく貢献します。テンプグループでは、テンプスタッフが東京都渋谷区に3カ所、テンプスタッフ・ウィッシュが神奈川県横浜市に2カ所、保育所を運営しています。



障がい者雇用の推進

障がい者の雇用支援を手がけるサンクステップでは、自社において約200名の障がい者を雇用。また、障がいがありながらスポーツに携わるテンプグループ社員の競技活動と就労の両立を支援する「Challenged Athlete Support」を実施。テンプグループでは、障がい者の皆様の可能性拡大に、今後も取り組み続けます。

2009年
9月

「よこはま夢工房」で初の外部販売が成功!

50名の知的障がい者が就業する、サンクステップのクッキー工房「よこはま夢工房」は、神奈川大学内にてクッキーの販売を実現しました。

企業理念

雇用の創造
人々の成長
社会貢献

社会貢献活動

「雇用」や「人々の成長」につながる社会貢献活動
●障がい者雇用支援
●スカラシップ

事業活動

人材ビジネスの推進を通じて雇用の創造と人々の成長支援を実践

人材ビジネスの推進を通じ、雇用の創造と人々の成長を支援することで、社会貢献を果たしていくこと。それが私たちの企業理念です。働く人と企業を結び、新たな雇用を生み出す私たちの事業そのものが、CSR(企業の社会的責任)の実践であると確信しています。その一方で、より広く社会に貢献するために、今後もさまざまな取り組みにチャレンジしていきます。

CSR

お知らせ

1. 株券電子化によるご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- (3) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合せください。
- (4) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

株式に関するお手続きについて

■ 特別口座に記録された株式

| お手続き、ご照会などの内容 | お 問 合 せ 先 | |
|--|----------------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名などのご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*) | 特別口座 口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料) |
| <ul style="list-style-type: none"> ○郵送物などの発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ | 株主名簿 管理人 | [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 ▶0120-244-479(通話料無料) ○インターネットによるダウンロード ▶ http://www.tr.mufj.jp/daikou/ |

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

■ 証券会社などの口座に記録された株式

| お手続き、ご照会などの内容 | お 問 合 せ 先 | |
|---|----------------------------|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○郵送物などの発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ | 株主名簿 管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料) |
| ○上記以外のお手続き、ご照会など | 口座を開設されている証券会社などにお問合せください。 | |